

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット

情報公開の方法 以下のURLで公開する 倫理委員会のホームページで公開を希望

URL https://ocu-gastro.jp/for_oatients/clinical-study/

承認番号	
研究課題名	膵腫瘤に対するEUS-FNA (Endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration: 超音波内視鏡下穿刺吸引生検) におけるフランシーン針の有用性についての検討
研究の意義・目的	EUS-FNAは、対象病変から直接組織を採取し、病理組織学的診断が行えるため、膵充実性病変の診断において、非常に重要な役割を担っている。従来ランセット形状の穿刺針が汎用され、細胞診における良悪性の鑑別では良好な成績が報告されている。しかし、得られた検体は挫滅などの影響で良質な組織が十分に採取されない場合があり、自己免疫性膵炎や非典型な膵腫瘍など、組織診断が必要な疾患の診断には課題が残っている。近年、より多くの組織採取を目的に開発されたフランシーン形状の穿刺針が利用可能となり、診断能の向上が期待されている[1]。今回、フランシーン針の成績について後ろ向きに検討を行うことで、フランシーン針の有用性が明らかになれば、臨床における穿刺針の選択肢が広がり、膵腫瘍の確実な診断に寄与するものと考えられる。EUS-FNAの穿刺針として従来型のランセット形状針および、近年使用可能となったフランシーン形状針があり、今回、後者の診断能が前者に勝るといふ仮説をたて、両者の成績を後ろ向きに検討する。
研究期間	承認後 ~ 2019年3月31日 (西暦)
研究対象者の範囲	2015年1月1日から2017年11月1日までの期間、大阪市立大学付属病院消化器内科で膵疾患の精査目的にEUS-FNAを行った患者様が対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	患者様の診療記録を利用させていただきます。
利用者の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみ <input type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する <input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける <input type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である <input checked="" type="checkbox"/> 研究成果を公表する
研究機関の情報	大阪市立大学医学部附属病院 消化器内科学教室
代表施設のURL	該当なし
研究成果を公表する方法	学会発表を行います
試料・情報の提供方法	該当なし
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学附属病院消化器内科 杉森 聖司
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	06-6645-3811 担当: 垣谷まで